

(様式6-1)

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	美しい沿道景観形成のための効率的維持管理手法の調査・研究
助成事業者	(一社) 鹿児島県造園建設業協会
代表者	(会長) 井上恒治

(目的)

指宿スカイライン沿道の草地や樹林を、自然界の摂理に適った維持管理手法の案出によって維持管理の効率化を図るとともに、地域本来の特性を持った美しい景観として育成することを目的に試験施工及び追跡調査を行った。

(概要)

1. 草地の育成管理

草刈り作業の効率化を図るには、低茎の草地への移行が重要である。その為に、高茎草本類にダメージを与えるための選択的草刈り、及び選択的除草剤散布を行い、植生変化の追跡調査を行った。

半年間の試験施工の結果低茎の草地が形成されつつあるが、今後維持管理費用の算出や仕様書作成に資するため、1年間を通じた試験施工の継続が必要である。

2. ススキ群落の保全管理

ススキ群落に絶滅危惧Ⅱ類のカヤネズミの球巢や、話題性のあるナンバンギセルの寄生が観られることから群落を一部保全することとした。

ススキの生育に支障がないよう、阿蘇などの草地で伝統的に行われてきた野焼きの時期に倣って、休眠期に刈り取り作業を行い群落保全に努めた。

3. 里山の育成管理

鬱蒼としたかつての里山を相対照度20%程度に間伐し、野生花木型林床林の復元を試みた。今後既存花木の開花状況に応じて更なる間伐や花木の補植を検討する。

4. 指宿スカイラインの持つポテンシャル

沿道の人工林・竹林・里山・野生草地等地域の特性を持った景観資源を活用した整備や、錦江湾や桜島などの展望のための視点場創りで、観光かごしまの観光道路に相応しい景観創出が期待される。

5. 今後の取り組み

一連の試験施工は自然界の摂理に倣った手法が基本であり、確実な成果を得るには今後四季を通じた更なる調査・研究が必要である。